

# INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel. 03(3349)8088 (広報直通)

2013年6月12日

木質接着複合パネルによる木質構造の大規模建築物

## 「ミサワホーム 静岡事務所ビル」完成

- FWS（フューチャー・ウッド・システム）構法を初めて採用
- 国土交通省の平成23年度「木のまち整備促進事業」の採択プロジェクト
- 屋上面に設置した太陽光発電システムによる全量売電をスタート

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 竹中宣雄）が、独自に開発した FWS 構法を初めて採用した「ミサワホーム 静岡事務所ビル」が、静岡市駿河区のミサワホーム技術研修所跡地にこのほど完成しました。

FWS 構法は、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の施行や、低炭素社会の実現のために循環資源である木材を建築物に積極的に活用することが求められていることなどを背景に、当社グループの株式会社ミサワホーム総合研究所（本社 東京都杉並区／代表取締役社長 上野彰一）が中心となり、独自の木質接着複合パネルを活用した大スパン化や中層化など、木質構造の可能性を広げることを目的に研究開発に取り組んでいる新しい構法です。

このたび完成した「ミサワホーム 静岡事務所ビル」は、ミサワホームが昨年10月より、株式会社ミサワホーム静岡（本社 静岡県静岡市駿河区／代表取締役社長執行役員 榎本裕二）の本社新社屋として建設を進めてきたもので、高強度の木質接着複合パネルをボックス形状に貼り合わせた中空構造の柱・梁部材を用いた2方向木質ラーメン構造が評価され、国土交通省の平成23年度「木のまち整備促進事業」に採択されています。

当ビルは、この構造部材を用いることで、今までの木質構造ではほとんど例のない2方向ラーメン構造と最大9.1mの梁による大空間を実現した、延床面積2,894.93㎡、3階建の大規模木造建築物です。構造部材を工場生産とし、構造部材同士を金物とボルトを用いた容易な接合方法としたことで、輸送・搬入性や施工性を向上、現場組立作業も省力化でき、躯体の組立開始から約2週間で上棟しました。これらの工夫で、コストダウンも同時に達成しています。施工は当社グループのテクノエフアンドシー株式会社（本社 東京都新宿区／代表取締役社長執行役員 若月恵治）が担当しました。1階はピロティ、2階は商談スペースをはじめとする最新の住設機器類の実物展示コーナー、キッズルームや大会議室、3階はオフィススペースとし、屋上面には約50kWの太陽光発電パネルを設置して再生可能エネルギー発電設備として認定を取得、昨年スタートした全量買取制度により発電した全量を売電します。今後は、6月16日（日）に竣工式を開催し、ミサワホーム静岡は7月に新社屋に移転後、業務を開始します。

ミサワホームグループでは、引き続き、FWS 構法の開発・検証を進め、大規模建築物や4、5階建の中層住宅の木質化に積極的に取り組み、民間の建物にとどまらず、学校や医療・介護施設などの公共工事への提案も進めていきたいと考えています。

## ■「ミサワホーム 静岡事務所ビル」概要

- 【建設地】静岡県静岡市駿河区手越 367 番地
- 【敷地面積】4,721.27 m<sup>2</sup>
- 【建築面積】1,025.96 m<sup>2</sup>
- 【延床面積】2,894.93 m<sup>2</sup> (約 875 坪)
- 【階数】地上 3 階建
- 【太陽光発電】49.68kW (最大出力)
- 【事業者】ミサワホーム株式会社
- 【設計者】株式会社ミサワホーム総合研究所
- 【施工者】テクノエフアンドシー株式会社
- 【竣工日】6月16日



「ミサワホーム 静岡事務所ビル」外観

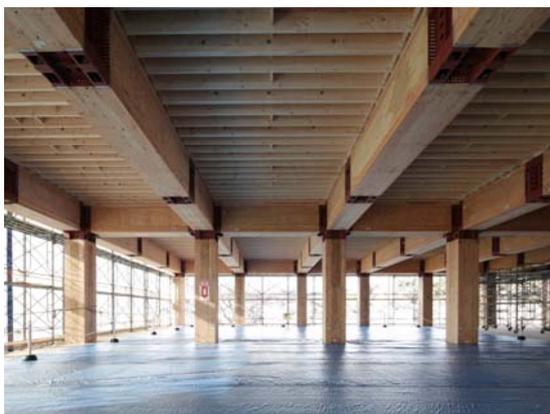
## ■FWS 構法

ミサワホーム独自の木質接着複合パネルをベースに、その面材である合板の厚みを増すなどの改良を加えた高強度の木質接着複合パネルを使用し、大スパン化や中層化など、木質構造の可能性を広げることを目的に研究開発している構法です。今回の2方向木質ラーメン構造をはじめ、これ以外の構造を採用したFWS構法も進めています。

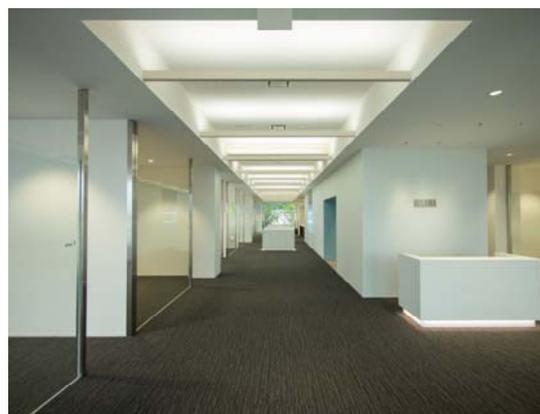
## ■FWS 構法の特長

今回は2方向木質ラーメン構造を採用しています。主な特長は以下のとおりです。

- ・高強度の木質接着複合パネルをボックス形状に貼り合わせた柱や梁を構造部材として使用することで、大スパンや大空間を実現
- ・現場にて柱と梁の構造部材を、金物を介してボルトやナットで接合できるため施工が容易
- ・工場で構造部材を生産するため、品質・精度が高く、コストダウンも実現
- ・現場での構造部材組立作業が容易なため、鉄筋コンクリート造と比較して工期短縮を実現
- ・ボックス形状の中空構造の部材のため、コストダウンにつながるるとともに、建物の軽量化が可能で耐震性も向上
- ・構造部材の最長寸法を3.64 mとすることで、2tトラックによる運搬が可能となり、現場への輸送・搬入性が向上
- ・断面の規格を統一、かつ限定することで工場生産効率を向上、コストダウンに寄与



FWS 構法の構造躯体



「ミサワホーム 静岡事務所ビル」内観

以 上

\*この件に関する問い合わせ先\*

ミサワホーム(株) 経営企画部 広報・IR課 武田路和 村田祥生

TEL 03-3349-8088 / FAX 03-5381-7838

E-mail: [Hiroo.Murata@home.misawa.co.jp](mailto:Hiroo.Murata@home.misawa.co.jp)